

2013年度活動報告まとめ

14年5月17日
岡山県オリエンテーリング協会

<事業報告>

詳細は13年度活動報告書参照。

1. 会議体関係

- ・理事会、総会、対外加盟団体の県レク理事会・評議員会等計画通り対応した。

2. 主催・主管イベント

(1) オリエンテーリング大会の開催

- ・由加山での県民大会を新たに追加し、従来からの大会を含めて6大会開催した。
参加者総数は約500名で総計120組154名の増となった。(新規開催の由加山は65組76名で内数)

(2).その他イベントの開催

- ・基本技術教室3回(延べ35名参加)、大会運営研修会2回(延べ17名参加)を開催した。
また、大会開催前日に試走を兼ねた練習会も開催(延べ38名参加)。

3. 協力イベント

- ・医療法人きのかグループ新入職員研修オリエンテーリングの運営(白石島、28名参加)
- ・総合スポーツクラブ新見オリエンテーリング初心者講座開催(県健康の森、12名参加)
- ・福山ボーイスカウト第2団オリエンテーリング初心者講座開催(福山、30名参加)

4. その他の取り組み

- ・大会開催に合わせてのOmap作成整備(延べ46日)、他定例業務は例年通り実施。
なお、全日本リレーへの選手派遣、パーマメントコースの再整備関係はできなかった。
- ・新規作成「GPSJUNO 3B操作要領」、「ナビゲーションゲーム実施ガイド」、「主催大会等の参加者対応ガイドライン」、全面見直し「地図調査要領」、「大会準備要領」、作成完了「基本技術総合編」。

<会計報告>

詳細は13年度収支決算報告書参照。

・収入

期首計画に対し約10万円増。大半はE-Cardレンタル収入(約20万円)であり、ライフパーク講座講師料がなくなった分を補えた。

・支出

期首計画に対し約15万円の増。この大半はE-Card交換補修費(約16万円)である。
期首計画より若干少ないものの2年ぶりに約7.5万円の繰越金を計上できた。

<総括>

- ・新規を含め6大会開催したが、これらの地図調査対応、さらに基本技術教室、運営研修会の開催、初心者講習会等の協力イベント対応を含めると、現有のリソースと対応方法では概ね限界に近いと思われる。引き続き新トレイン開拓は望ましいが、現在のような毎年同トレインでの開催を隔年輪番にするなどができれば一層好ましい。

反面、いずれのイベントも好評に推移しており、これに応えるべく継続実施を念頭に、リソース充実と対応方法改善の施策をさらに推進する必要がある。

- ・年度収支は堅調であったが、常時安定した収支が見込めるよう、今後とも細かな管理が必要である。
この2年ほど多額の交換費用を要しているE-Card寿命は安定してきつつある様子。
- ・引き続き「初心者に配慮したイベントであるとともに、経験者にも満足してもらえる大会を志向し、ホスピタリティある愛好者を育て、かつ会員の資質向上を図る」スタンスを基本的に踏襲すべきだが、前述スタンスの後段を「～かつ会員の資質向上を図りスムーズな世代交代を促進する」とし、数年かけて実現させるのが必須であろう。

以上